



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2026年03月30日 第1261「週刊五十嵐レポート」

一手間

経営をシンプルに考えると、まずどのような商品や有料のサービスを扱うか決める。次にどこの地域で販売するか決める。そして顧客はどのような業界や客層にするか決める。この後、どのようにして顧客を見つけて、販売していくか営業方法・対策を考える。一度作った顧客をどのようにして維持していくか考える。これらを組み立てていく(これを「経営システム作り」という)。この経営システム作りがうまく行くと業績は良くなる。

経営システム作りが上手な会社は業務マニュアルを制作しており、それをテキストとして社内勉強会を行っている。一方、業績が思わしくない会社や小規模企業は業務マニュアルを持っている所が少ない。社長一人にウエイトがかかっており、社長が病気やケガでしばらく会社を留守にすると会社が回らなくなるが多々ある。業務マニュアルの必要性を感じながらも制作に着手する会社も少ない。「必要だけれども緊急ではない」と思われている。

その中でも着手しはじめた社長たちもいる。

「マニュアルの大切なこととして、業務の属人化を防ぐことの必要性を強く認識。特定の個人にしか業務の流れやノウハウがわからない状態では、その人が不在や退職した場合に業務がとまる。社長がいなくても会社が回る仕組み、売上を上げられる仕組みを考えていく」。

「素人目線でもわかるように時間軸で分かり易いものを作る。スマホで作業工程の動画を作成し、社員みんなで共有する。従業員教育に力を入れる」。

「工場に入る時の留意事項、営業・業務担当のワークフローを準備し、新人に対する指導に役立てる。従業員の教育は継続をしていく」。

「生産性を上げていくには仕組みづくりと従業員教育を継続して行わなければ良い会社を作れない。継続して学び続けて仕組みづくりをする」。

美味しい料理を作るには「一手間」が大事。小さな会社にとって一手間は業務マニュアル作りと従業員教育ではないか。同業者より一つ頭を飛び出すにはこの「一手間」が大事。

ちょっと
気になる出来事

3月28日付朝日新聞、「フロントランナー」は小林克也氏。

日本における洋楽の伝道師。1981年に放送が始まった「ベストヒットUSA」は中断期間をはさんで、ことし45周年を迎えた。映像付きで音楽を楽しむ「ミュージックビデオ」という新しい習慣を定着させた番組。

レコード盤からCD、そして配信の時代と音楽ビジネスをめぐる状況は大きく変化し、それを伝えるメディアも多様化が進んだ。その最前線で半世紀以上、現役で活躍を続ける。3月27日で85歳。

小林克也氏曰く、「ラジオはね、テレビもそうだけど、自由さというのが大事。自由な発想で面白いと思ったことをやる姿勢を失うと、『本当にヤバいですよ』。もう車の中でもスマホでストリーミングでしょ。今真剣に考え直さないとラジオもテレビも、いつかなくなってしまうかもしれないね」

私が20歳の時に「ベストヒットUSA」が始まった。ずっと見ていた記憶がある。当時は英語の勉強もかねて洋楽を聞いていた。小林克也氏が今も現役であることに頭が下がる。



一口メモ
知識

友人と交際

有益な友人が三種、有害な友人が三種あるよ。

正直者と誠実者と物知りを友人にするのが有益な三種。

見栄っ張りやゴマすりや口達者を友人にするのが有害な三種だ。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

